

## 省エネルギー技術開発の位置付け

省エネルギー対策課

### 1. 背景

我が国では1970年代のオイルショックを契機とし、官民の努力により世界に冠たる省エネルギー技術を開発することでこれを乗り越え、経済成長と省エネルギーを同時に達成してきた。

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、1980年に誕生。「エネルギー使用合理化のための技術」に関する研究開発を機構の目的の一つに掲げ、これまで様々な省エネルギー技術を開発。

NEDOでは、エネルギー基本計画等政府の省エネルギー技術開発の方針を踏まえ、具体的な取組みを示すロードマップとして2007年に「省エネルギー技術戦略」を策定し、更新してきた（最終更新は2011年）。

### 2. エネルギー基本計画における記載

本年4月11日に閣議決定された第4次「エネルギー基本計画」に、以下のように記載。

P.35 第3章 第2節 1. 各部門における省エネルギーの強化

「業種横断的に、大幅な省エネルギーを実現する革新的な技術の開発を促進していく。」

P.74 第4章 2. 取り組むべき技術課題

「利用局面において効率的にエネルギーを利活用するための製品について、材料・デバイスまで遡って高効率化を支える技術の開発、エネルギー利用に関するプロセスを効率化するためのエネルギーマネジメントシステムの高度化や、製造プロセスの革新を支える技術開発に取り組む。」

### 3. 省エネルギー技術開発の現状と今後の動向

エネルギー基本計画を踏まえ、重点的に開発すべき省エネルギー技術に関し、これまでの実績や、今後の省エネルギー技術開発の動向等について、NEDOにて整理されたものを議論の土台として紹介。省エネルギー小委員会として省エネルギー技術開発の方向性について議論。

### 4. 省エネルギー技術開発の今後の方向性

本日の小委員会における議論も踏まえ、政府として省エネルギー技術の開発をどう進めるかについて、必要な支援措置のあり方も含め検討。